



京都大学
KYOTO UNIVERSITY



令和4年11月8日

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

国立大学法人京都大学

国立大学法人福井大学

文部科学省委託事業

「もんじゅサイトに設置する新たな試験研究炉の概念設計及び運営の在り方検討」

に係る第4回コンソーシアム委員会開催について

(お知らせ)

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構、国立大学法人京都大学及び国立大学法人福井大学は、令和2年11月27日に文部科学省から受託した「もんじゅサイトに設置する新たな試験研究炉の概念設計及び運営の在り方検討」に係る第4回コンソーシアム委員会を開催いたします。

当該事業においては、新試験研究炉の利用ニーズを有する学术界、産業界、地元関係機関等で構成されるコンソーシアム（共同事業体）を構築し、幅広い意見を反映しながら概念設計及び運営の在り方検討を実施することとしています。

記

1. 開催日時： 令和4年11月15日（火）15:00～17:00
2. 開催場所： 福井大学附属国際原子力工学研究所（第1講義室）
（福井県敦賀市鉄輪町1丁目3番33号）
3. 委員名簿： 別添のとおり
4. 主な議題： 概念設計・地質調査について
新試験研究炉における幅広い利用運営について
地元関係機関との連携構築について
意見交換

以上

文部科学省委託事業
「もんじゅサイトに設置する新たな試験研究炉の概念設計及び運営の在り方検討」
令和4年度 コンソーシアム委員会 委員名簿

コンソーシアム参画機関委員（五十音順・敬称略）

新井 史朗	日本原子力産業協会 理事長
池澤 俊之	敦賀市 副市長
石塚 博英	若狭湾エネルギー研究センター 理事長
稲継 崇宏	日華化学株式会社 取締役執行役員 CTO 界面科学研究所長
奥井 純子	敦賀商工会議所 専務理事
加倉井 和久	日本中性子科学会 会長
川村 慎一	日本原子力学会 会長
嶋田 浩昌	福井県商工会議所連合会 専務理事
畑澤 順	日本アイソトープ協会 専務理事
船城 健一	東洋紡株式会社 総合研究所 分析センターリーダー
森井 幸生	放射線利用振興協会 中性子利用技術部 部長
山西 弘城	近畿大学 原子力研究所 所長
吉岡 研一	中性子産業利用推進協議会 運営委員会委員長代理
吉川 幸文	福井県 地域戦略部長

中核的機関委員（五十音順・敬称略）

宇埜 正美	福井大学 附属国際原子力工学研究所 所長
杉山 正明	京都大学 複合原子力科学研究所 教授
辻本 和文	日本原子力研究開発機構 原子力科学研究部門 原子力基礎工学研究センター 副センター長
中島 健	京都大学 複合原子力科学研究所 所長
早船 浩樹	日本原子力研究開発機構 高速炉・新型炉研究開発部門 副部門長
日野 正裕	京都大学 複合原子力科学研究所 教授
福元 謙一	福井大学 附属国際原子力工学研究所 教授
米沢 晋	福井大学 産学官連携本部 本部長

以上

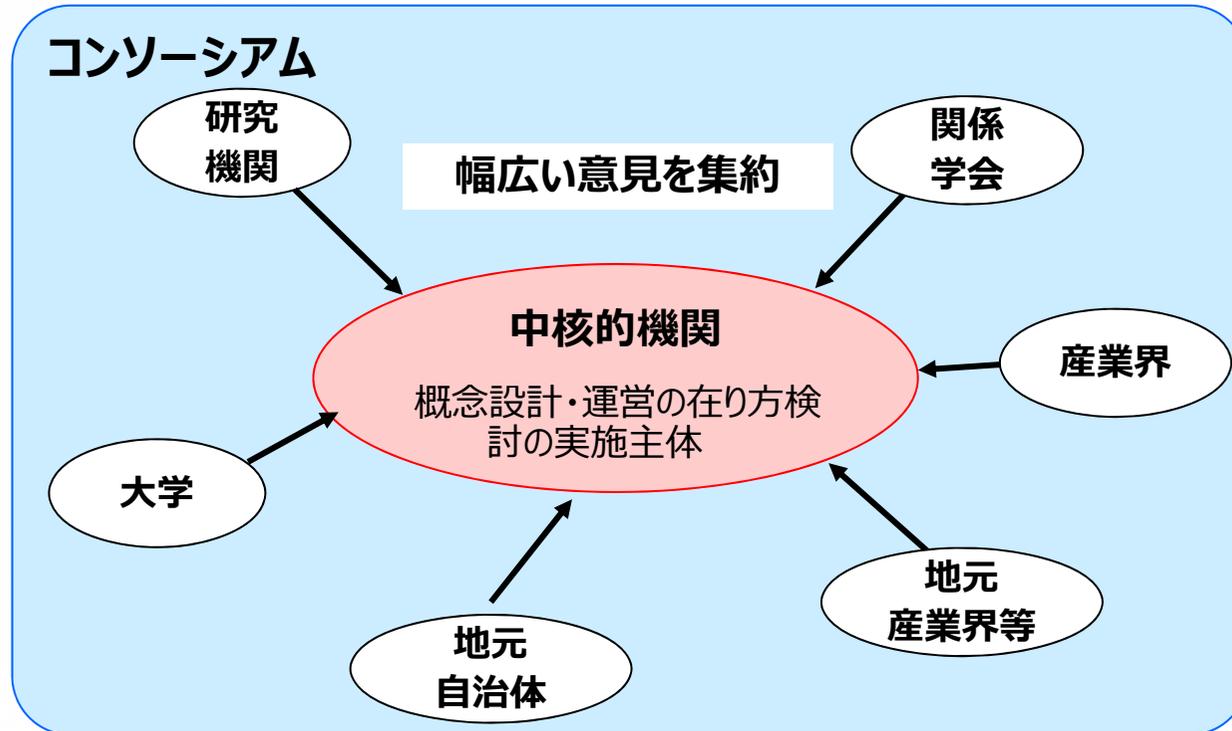


第4回コンソーシアム委員会の開催について

日本原子力研究開発機構
京都大学
福井大学

もんじゅサイト試験研究炉検討の体制

中核的機関(原子力機構、京都大学、福井大学)に加えて、本試験研究炉の利用ニーズを有する学术界、産業界、地元関係機関等からなるコンソーシアムを構築し、幅広い意見を反映しながら概念設計及び運営の在り方検討を実施



※中核的機関の役割

原子力機構：「試験研究炉の設計・設置・運転」

- 試験研究炉の設計やもんじゅサイトの知見を活かし、主に概念設計と地質調査を担当

京都大学：「幅広い利用ニーズ集約とサービス提供」

- 利用ニーズの整理、及びKURの利用運営経験を活かした利用運営の在り方検討を担当

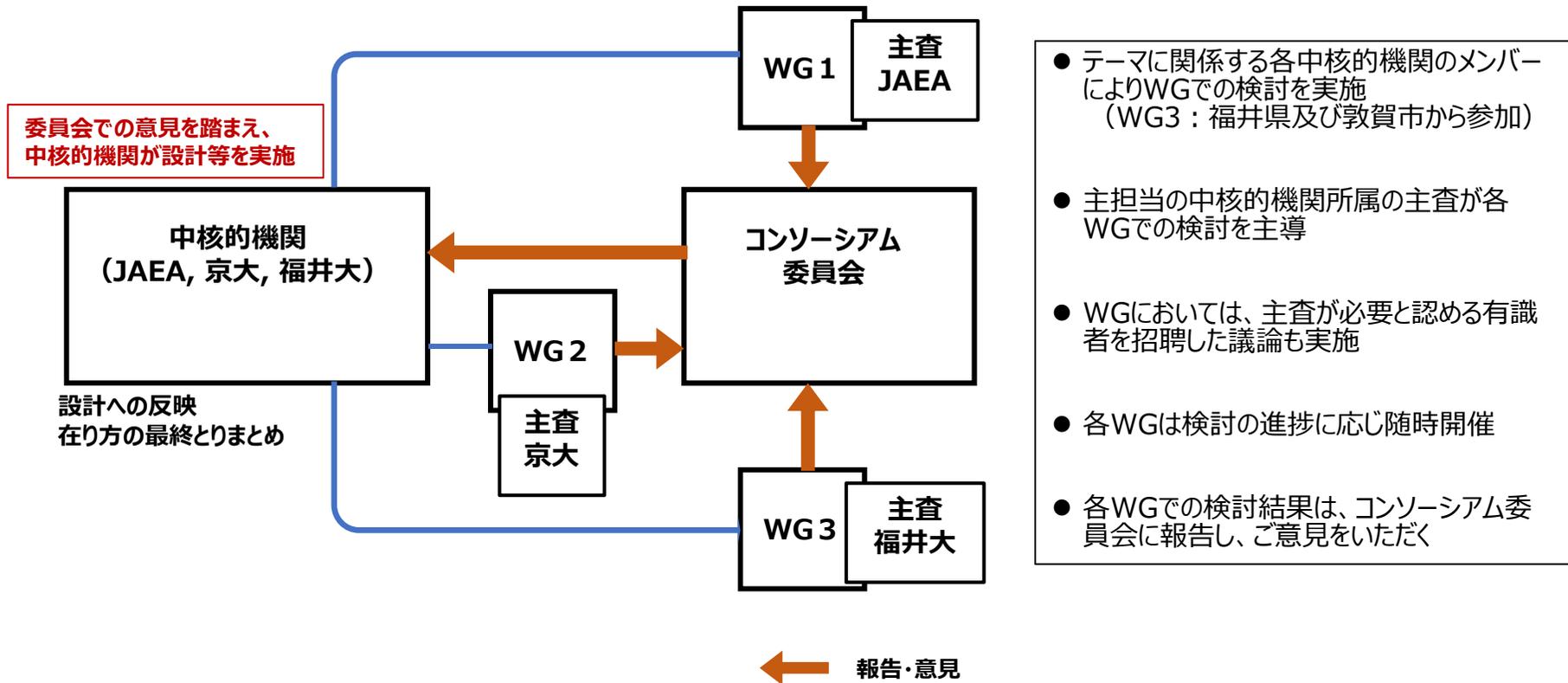
福井大学：「地元の大学、研究機関、企業等との連携構築」

- 地元産業界との橋渡し活動、地元関係機関との連携構築に向けた制度の検討を担当

中核的機関、コンソーシアム委員会等の検討体制

コンソーシアムでの議論・意見集約を効率的に行うため、「コンソーシアム委員会」と以下の3つのテーマでのワーキンググループ（WG）を設置することにより行う。

- WG1：「試験研究炉の設計・設置・運転」WG（主担当：JAEA）
 - WG2：「幅広い利用運営」WG（主担当：京大）
 - WG3：「地元関係機関との連携構築」WG（主担当：福井大）
- 各々の論点でより専門的かつ具体的な議論を行う。



中核的機関、コンソーシアム委員会等の検討状況

コンソーシアム委員

- 地元機関：福井県、敦賀市、福井県商工会議所連合会、敦賀商工会議所、
- 地元企業（日華化学、東洋紡）、地元研究機関（若狭湾エネルギー研究センター）
- アカデミア：日本原子力学会、日本中性子科学会、近畿大学
- 産業界：日本原子力産業協会、日本アイソトープ協会、放射線利用振興協会、中性子産業利用推進協議会
- 中核的機関の専門家

コンソーシアム委員会開催状況

- 第1回 令和3年3月23日 附属国際原子力工学研究所（敦賀市内）＋オンライン＋プレスオープン
- 第2回 令和3年10月22日 附属国際原子力工学研究所（敦賀市内）＋オンライン＋プレスオープン
- 第3回 令和4年3月24日 附属国際原子力工学研究所（敦賀市内）＋オンライン＋プレスオープン
- 第4回 令和4年11月15日 附属国際原子力工学研究所（敦賀市内）＋オンライン＋プレスオープン

議題：概念設計・地質調査について、利用運営の検討について、地元関係機関との関係構築について、意見交換

WG開催状況（令和4年度）

- WG1～3合同開催：第1回（7/21,26, オンライン＋非公開）
- WG1：「試験研究炉の設計・設置・運転」WG（主担当：JAEA、オンライン＋非公開）
第1回（8/26）
- WG2：「幅広い利用運営」WG（主担当：京大、オンライン＋非公開）
第1回（10/31）
- WG3：「地元関係機関との連携構築」WG（主担当：福井大、オンライン＋非公開）
第1回（7/22）

令和4年度の取組状況

1. 概念設計

- 炉心の検討：制御要素の検討等。RI製造を含めた試験研究炉の活用方策を検討
- 設備・レイアウトの検討
 - 炉室、ガイドホール、ビームラインや大型実験装置のレイアウト
 - ホットラボラトリ等使用施設の仕様の検討

2. 地質調査

- 地質調査及び土石流に関するリスク評価（土石流シミュレーション等）等

3. 運営の在り方検討

- 学術利用と産業利用の双方を調和させた開放的な運営体制の検討

4. 地元関係機関との連携構築に向けた検討

- 伴走型連携による潜在的な中性子利用需要の掘り起こし、将来のユーザーの育成のため、セミナー等を開催(学内セミナー、講習会等)。トライアルユースを促進する制度や関心のある企業を支援する窓口となる主体の整備に関する検討
- 人材育成拠点とするための大学の役割や中性子利用の専門教員の配置等の検討

もんじゅサイト試験研究炉のスケジュール（見通し）



文科省委託事業の期間

項目	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度～
1. 概念設計		炉心の検討 →	設備・施設レイアウトの検討 →	
2. 地質調査	予備的調査 →	本格調査 →		詳細設計 (R4年度中に開始)
3. 運営の在り方 検討		利用ニーズ整理、人材育成・利用運営・ 地元との連携構築のための仕組みの検討 →		<ul style="list-style-type: none"> ・ R4年度中に基本設計を含む 詳細設計を開始すべく取組む ・ コンソーシアムを通して利活用 に関するニーズや意見を集約